

令和4年度シラバス

理学療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
理学療法評価学Ⅱ		演習・講義	福林 秀幸	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
理学療法士にとって必要な検査項目の中に徒手筋力テスト（MMT）がある。前期に学んだ筋・骨格系の知識を基に筋力の状態を評価する技術と筋力低下をしている関連要因を疾患の画像も含めて説明し、適切に評価できる検査技術の習得を目指す。また、徒手のみではなく測定機器を使用した筋力測定方法も紹介する。1年次後期のカリキュラムへ組み込むことで、実技を充実させることにより早期技術習得、実技練習時間の確保を図る。				
授業の到達目標				
基本的な徒手筋力検査法や検査を実施するに当たっての注意事項を学び、検査対象者の筋力を測ることに於いて、正しい検査結果を導き出すことが出来るようになる。 検査結果から、筋力低下の要因を考えることができるようになる。				
授業計画				
回	内容			
1	MMTの概要 理論			
2	筋力検査の目的 筋の触診の方法			
3	上肢① 肩関節（腱板損傷US画像）			
4	上肢② 肩関節 肩甲帯			
5	上肢③ 肩甲帯 肘関節			
6	上肢④ 手関節 手指			
7	下肢① 股関節（股関節周囲筋US画像）			
8	下肢② 股関節 膝関節（膝周囲筋US画像）			
9	下肢③ 足関節（下腿周囲筋US画像）			
10	下肢④ 足関節 足趾（足底腱膜炎 アキレス腱炎 カルシウム沈着 画像）			
11	体幹① 頭頸部			
12	体幹② 胸腰椎（筋・筋膜性腰痛）			
13	顔面 ハンドヘルドダイナモメーター			
14	筋力検査結果の表し方と意味 粗大筋力 握力			
15	実技テスト			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	筆記試験 40% 実技テスト 60%		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載	再試験に関しては、実技試験のみ。			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準理学療法学 専門分野 理学療法評価学 第3版	内山靖 編		医学書院	
新・徒手筋力検査法 原著第10版	Helen J. Hislop 他著		協同医書出版社	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				
コロナの影響によりシラバスの予定と変更する場合もある。変更がある場合はその都度連絡する。				